

カンボジア王国

国家・国王・宗教

ロールチュルッ小学校開校式報告書

ロールチュルッ小学校開校式を迎え、寄贈者に心から感謝いたします。

開校式は 2012 年 7 月 16 日、9:30~11:00、コンポンチャム州プレイチャー郡バライ地区ロールチュルッ村にある当小学校において、プレイチャー郡郡長、スレイ・サブーン氏を主賓に行われました。

来賓 10 人、僧侶 2 人、生徒 86 人、教師 22 人、村人 98 人が参加し開校を祝いました。

I. 式次第

1. 僧侶による祝賀の祈り
2. 開校式プログラムの紹介
3. 主な来賓の紹介
4. カンボジア・日本両国国歌斉唱
5. チア・ウン氏祝辞：バライ地区地区長
6. ASAC の活動紹介：ASAC 調整員、浦田富貴美
7. 岡村晴雄氏祝辞：しょうがっこうをおくる会
8. スレイ・サブーン氏祝辞：プレイチャー郡郡長
9. 生徒代表へノート、ペンの贈呈、学校長にスポーツ遊具の贈呈
10. テープカット、学校簿への署名、各教室で生徒へプレゼントの贈呈
11. 写真撮影、ロールチュルッ村訪問

II. 主な来賓

1. スレイ・サブーン氏：プレイチャー郡郡長
2. オウ・ホン氏：プレイチャー郡教育課課長
3. 浦田富貴美：ASAC 調整員
4. 岡村晴雄氏：しょうがっこうをおくる会
5. チア・ウン氏：バライ地区地区長
6. チョム・ソッピアップ：ロールチュルッ村村長
7. チョム・マウ氏：学校建設委員会委員長
8. マイ・サモーン氏：トロペアンバイ小学校校長
9. デム・トゥーン氏：ロンコー小学校校長
10. プレイチャー郡役人

III. チア・ウン氏祝辞：バライ地区地区長

開校式に出席の皆様には敬意を表します。地区の子ども達の為に、このような綺麗な校舎が完成し、心からうれしく思います。

バライ地区についてお話しします。地区は北がトゥモーブーン地区、南がトロペアンプリア地区に隣接し、13 村で構成されています。世帯数は 2,493 戸、人口は 10,882 人(女 5,653 人)です。その内、ロールチュルッ村の世帯数は 251 戸、人口は 1,130 人(女 593 人)です。

地区内に小学校は 7 校あり、それぞれロールチュルッ村、コークソロラウ村、ロンコー村、トロペアンバイ村、トロペアンベン村、トゥールチャムボーク村、そしてプレイクチエイ村に位置しています。

ロールチュルッ小学校には以前校舎がなく、生徒は村の集会所を使って勉強していました。しかし、今 ASAC を通して日本の支援者によって新しい校舎が建てられました。私達はこの校舎を大切に、綺麗に保ち、いつまでも長く使用できるように、管理していくことを村民、校長、教師、生徒に代わって誓います。そして学齢期の児童を集め就学を促していきます。

私達を支援していただきまして、日本の支援者と、ASAC に深くお礼申し上げます。皆様に仏の 5 つの御加護を祈念いたします：長寿、崇高、健康、力、知力。

IV. ASAC の活動紹介：浦田富貴美調整員及び ASAC スタッフ

(紙芝居による ASAC の活動紹介、番号は紙芝居の絵の番号)

- 1、 みなさん、ASAC という団体をしていますか？ASAC は、日本の団体です。カンボジアに学校を贈る会と言います。
- 2、 私たちの国日本は、カンボジアから飛行機に乗り継いで7時間ぐらいのところにあります。でも、時計では2時間しか違いません。日本の時間はカンボジアより2時間進んでいます。では、ここで質問です。カンボジアでは今午前10時ですね。日本では今何時でしょう？答えは、午後12時です。
- 3、 日本には4つの季節がます。1つ目は、春です。2つ目は、夏です。3つ目は、秋です。4つ目は、冬です。冬はとても寒く、雪が降ることもあります。では、ここで質問です。日本で採れない果物は、次のうちどれでしょう？りんご、ドリアン、すいか。答えは、ドリアンです。
- 4、 日本でも田んぼでお米を作ります。カンボジアと似ていますね。
- 5、 そんな日本で私たちは、カンボジアで学校を作るためのお金を集める活動をしています。たくさんの人が、カンボジアの子どもたちが皆学校で勉強できるようになってほしいと願って寄付をしてくれます。
- 6、 私たちのプノンペンの事務所には、毎年たくさん学校建設要望書が寄せられます。校舎がない、校舎が古くて危険、教室が足りないなど困っている学校から寄付主を探して学校を建設することを決めます。
- 7、 これが新しく建った校舎です。新しい教室は明るくてきれいです。鉄筋コンクリートとレンガでできているので丈夫です。雨が降っても風が吹いても安心して勉強することができますね。みなさん、校舎を寄付してくれた方の願い通り、新しい校舎で一生懸命に勉強できますか？ 学校をやめたりせずに、毎日元気に学校に通って来られますか？
- 8、 では、ここで質問です。ASAC が関わってこれまで建てた校舎は、いくつでしょう。①10校、②55校、③100校、④129校。答えは、④129校です。これまでに建設した学校の校舎を紹介する写真を新しい教室に展示していますので、後で皆さんも見てくださいね。
- 9、 今日は、ASAC からみなさんにお願ひがあります。それは、新しく建設された校舎を大切に使うってほしいということです。
- 10、 日本の小学校では、自分達の学校の校舎を大切にするために、毎日、全員で時間を決めて掃除をします。教室の中や廊下、校庭もきれいにします。
- 11、 ごみはゴミ置き場に運んで行きます。集まったゴミは燃やしたり、堆肥を作ったりします。
- 12、 5年生や6年生になると、学校みんなのためにトイレの掃除もします。トイレ掃除はいやだなと思うかもしれませんが、でも、汚れたままにしておくとなんか使えなくなってしまいます。皆さんもトイレの掃除ができますか？
- 13、 では、最後に日本語を話してみましよう！「オーケン」は、日本語で「ありがとう」です。では、みんなと言って見ましよう！「ありがとう」これで、終わります。

V. 岡村晴雄祝辞：しょうがっこうをおくる会

みなさん、こんにちは。日本から来ました『しょうがっこうをおくる会』の岡村です。

みなさんが勉強して、1人でも多くの方が夢を叶えられるようにと思っています。そのために、私は日本の多くの人から読み終わった本を頂いて販売したお金でこの校舎を作りました。

今までネパール、ケニア、フィリピン、エチオピア、エクアドルに学校をおくりました。カンボジアはそれに続いて6カ国目です。学校数では7校目となります。この6つの国の子供たちも、夢に向かって頑張って勉強しています。皆さんも頑張ってくださいね。

VI. スレイ・サブーン氏祝辞：プレイチャー郡郡長

開校式にお出でいただきました皆様に敬意を表します。ロールチュルッ小学校が完成し開校式に出席して心から嬉しく思います。村民の皆さん、どうぞ、みなで協力して、校舎をいつまでも長く使用できるように管理して行って下さい。この校舎は、日本の支援者によって、僻地に住む子ども達が毎日学校に通い、学ぶ機会を得られるように、人々から読み終わった本を提供してもらい、販売することで資金を集め建てられました。

ロールチュルツ村の以前と今を比較すると、以前は道路事情が悪く、学校が無く、とても困難な状況でした。今は近くにコンクリート製の綺麗な校舎が建てられ、子ども達の通学は楽になりました。ロールチュルツ村の村民の皆さん、この校舎は村の子ども達が知識を習得して非識字者にならないように、日本の支援者と ASAC から贈られた価値ある財産です。そのことを決して忘れないで下さい。生徒の皆さんは、どの子もしっかりと学習してください。保護者の皆さんは、子どもが途中で学校を止める事のないよう、各学年を修了できるように学習を励ましてください。

お忙しい中、開校式に出席していただきました支援者に深くお礼申し上げます。どうぞ無事に帰国されますように、そして仏の5つの御加護がありますように祈念いたします：長寿、崇高、健康、力、知力

2012年8月1日
ASAC プノンペン事務所
学校建設事業アシスタント
報告者：ル・ナレ

VII. 開校式の写真



僧侶による祝賀の祈り



来賓の方々



カンボジア・日本両国国歌斉唱



チア・ウン氏祝辞：バレイ地区地区長



ASAC 活動紹介：浦田富貴美調整員、ASAC スタッフ



岡村晴雄氏祝辞：しょうがっこうをおくる会



スレイ・サブーン氏祝辞：プレイチャー郡郡長



生徒代表へノート、ペンの贈呈



学校長へスポーツ遊具の贈呈



テープカット



学校簿への署名



教室を訪問して生徒へプレゼントの贈呈



生徒、来賓と共に記念撮影